

No. 3005

2021-2022年度

会 長 松村 秀一
幹 事 川口健太郎
R広報委員長 児嶋 正人



島海碩書

第2640地区

例会日 毎週木曜日 12:30
例会場 紀州有田商工会議所6F
事務所 〒649-0304
有田市箕島33-1
紀州有田商工会議所2F
有田ロータリークラブ
Tel (0737) 82-3128
Fax (0737) 82-1020
創 立 昭和34年6月15日
ホームページ <http://www.aridarc.jp>
e-mail office@aridarc.jp

～ 四つのテスト 言行はこれに照らしてから ～

1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか



奉仕しよう みんなの
人生を豊かにするために

2021-2022年度クラブ方針

クラブで親睦を深め一人一人がそして
クラブが地域を明るくする



本日のプログラム

令和4年6月2日 第3006回

・委員会活動報告

・ソング：「君が代」「奉仕の理想」

次回のお知らせ

令和4年6月9日 第3007回

・委員会活動報告

・ソング：「それでこそロータリー」

前回の報告（第3005回例会）

開催日 令和4年5月19日(木)

点 鐘 [松村君]

ニコニコ箱の報告 [脇村SAA]

松村君：本日はクラブ協議会です。SAAさん、各委員会委員長さん、会員の皆様よろしくお願いします。井上修平様、RLI修了おめでとうございます。

川口君：本日の次年度への申し送り、各委員長の皆様、宜しくお願い致します。

岩橋君：クラブ協議会御苦労さんです。

上野山(捷)君：本日のクラブ協議会よろしくお願いします。

橋爪(正)君：ちょっといいことがありました。

中村君：この度、3期6年の任期を全うし、医師会長を辞任しました。中元新会長共々、今後も御指導を宜しくお願い申し上げます。

中元君：松村ガバナー補佐、地区クラブ社会奉仕委員長会議への出席お疲れ様でした。

橋爪(誠)君：各委員長の皆様、発表ご苦労様です。よろしくお願いします。

井上君：本日発表のみなさん、よろしくお願いします。

木本君：本日のクラブ協議会宜しくお願い致します。

丸山君：クラブ協議会「次年度への申し送り」よろしくお願いします。

菅原君：本日のクラブ協議会宜しくお願い致します。

嶋田君：クラブ協議会発表宜しくお願い致します。

辻君：本日クラブ協議会、次年度への申し送りよろしくお願いします。

脇村君：みなさま、次年度への申し送りよろしくお願いします。

出席報告 [木本例会運営委員長]

本日の会員数27名

(出席規定免除会員8名)

出席会員23名

(出席規定免除会員7名)

会長の時間 [松村会長]

「常楽寺住職のお話」

常楽寺のぶつとく誌5月号の住職のお話をご紹介します。

啓白文(二)第3005

「あたり前」の反対語はなんでしょう。

正解は「有難い」です。

あることが難しい。滅多にない。まさに、有ることがあたり前ではないということです。

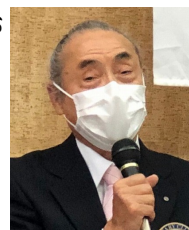
そして「有難い」から「有り難し」「ありがとう」という感謝の言葉が生れてきました。ですから、感謝の言葉「ありがとう」の反対語も、「あたり前」ということになります。

四恩

さて、四恩という仏教語があります。これは、この世で受けるさまざまな恩を四つに分類したものです。

- ・国土の恩
- ・父母の恩
- ・衆生の恩
- ・三宝の恩

私たちは生まれたときすでに、水や空気、太陽や大地、という大自然が用意されていました。この大自然への感謝の気持ちを、四恩の中では「国土の恩」として表現します。京都大学の元総長であり、医師でもある平澤與先生は『生かされて、生きるや今日のこの命、天地の恩、かぎりなき恩』という有名な言葉を残されています。まさに天地自然



のめぐみははかり知れない、かぎりなき恩です。

そして裸で何も持たずに生まれてきた我々に衣食住を提供してくれたのは、父母であり、まわりの人たちでした。これを「父母の恩」「衆生の恩」といいます。

天災

先日3月16日夜、福島県と宮城県で震度6強の地震がありました。首都圏を含む広範囲で断水や停電が相次ぎ、東北新幹線が脱線しました。

思い起こせば近畿地方でも、平成30年9月台風21号による大きな被害がありました。関西国際空港の連絡橋にタンカーが衝突したときの台風です。

この台風では、近年経験がないぐらい長期間の停電に見舞われました。電気の有難みを痛感したのを覚えています。

蛇口をひねれば水が出るのが「あたり前」。スイッチを入れれば電気が点くのが「あたり前」。それらが実は「あたり前」ではなく「有難い」ことであったと、災害にあってはじめて気づかされます。

阪神淡路大震災のあと、復旧する神戸の街で聞いたという「蛇口から水が出るよと拝む母」という言葉が新聞に載っていましたが、その気持ちがよくわかります。

有難い

勤行式(ごんぎょうしき)の啓白文(けいびやくもん)は次の通りです。

光明遍照(こうみょうへんじょう)

十方世界(じっぽうせかい)

念仏衆生(ねんぶつしゅじょう)

摂取不捨(せつしゅふしゃ)

(光明は 遍く十方世界の念仏の衆生を照らして、摂取して捨てたまわず)

阿弥陀仏の智慧と慈幸の光は、我々衆生を常に照らしてくださっているのですが、それに気づかないうちは、その救いにも気づくことが出来ません。

いま命あることが「あたり前」ではなく「有難い」ことであると気付いたとき、思わずお念仏がほとばしり出て、救いのみ手に抱かれていることにも気づくという意味です。

以上が住職のはなしです。

四恩のなかの「国土の恩」は天地自然のめぐみでありはかり知れない、かぎりなき恩です。

と述べられていますが近年の気候変動が明らかになり人間の行動次第では限りのある恩となる可能性が出てきました。

しかも「国土の恩」が当たりでなくなり「有難い」ものと気づいた時には、すでに手遅れだということが大きな問題です。

幹事報告

〔川口幹事〕

本日の幹事報告3件ございます。

- ・第10回定例理事会報告。
- ・ハイライトよねやま266号が届いています。
- ・SAA、各委員長へ本年度報告書の作成を始めて下さい。



ロータリー友誌

〔児嶋ロータリー広報委員長〕

【横組】

P.4-P.5

シェカール・メータ会長のメッセージが掲載されています。

P.8-P.13

青少年奉仕月間と言う事で、若者の間で急増する大麻の乱用について掲載されています。大麻事犯における検挙人数の推移で10年間で30歳以上で約2.1倍増、20歳～30歳未満で約3.1倍増、20歳未満で約11倍増と大変問題となっています。

P.14-P.19

ウクライナ危機の中で強まる決意と題し、ウクライナでのロータリー10年間の活動が掲載されています。

P.23-P.27

全国各地でのガバナーのロータリー・モメントを紹介しています。

P.28-P.31

ローターアクターの呼びかけによる、全国一斉の献血活動が掲載されています。

【縦組】

P.4-P.8

低年齢化する子供のメディア漬け「2歳児問題」が掲載されています。

内容を少し紹介しますと、スマホが乳幼児に与える影響は、

- ①アイコンタクトとスキンシップの減少
- ②睡眠が障害される
- ③イライラしやすくなる
- ④脳の発達の遅れ
- ⑤言語発達の遅れ
- ⑥社会性が育ちににくくなる
- ⑦注意力の低下

が挙げられます。乳幼児でスマホ依存症に近い反応を示す割合を調べると、1歳児で17%、2歳児は23%と最も高い割合を示しているそうです。この結果に本当に驚き、「2歳児問題」として問題提起されました。

P.9-P.12

洋画家児島虎次郎さんの孫である児島塊太郎さんが掲載されています。

P.19-P.25

全国各地でのロータリーアットワークが掲載されています。残念ながら2640地区の掲載はありませんでした。

委員会報告

※次年度青少年・社会奉仕委員会(中元委員長)

5/15(日)JA和歌山ビル

2021-22年度新旧合同クラブ社会奉仕委員長会議に出席してきました。

次年度への申し送り

◎SAA 脇村重徳SAA

本年度も相変わらず続いたコロナ禍の中で、例会運営は少なからず影響を受けましたが、副SAAの橋瓜誠治君が中心となって併設した「リモート例会」が好評を受け、会員数27名に対して出席会員数はコンスタントに20～25名を維持することができました。



次年度もコロナ禍が続くようであれば、次期橋瓜SAAが経験を生かして、本年度に勝るとも劣らない例会運営を推進していただけるものと期待しています。

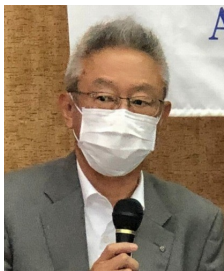
◎クラブ奉仕委員会 上野山栄作委員長

もっとも優先すべき会員増強についてコロナ禍を理由にするのでは無く、アクションを起こすことができなかったことが反省です。今後は増強委員会が中心となり計画を立てて会員全員が一丸となって取り組むことが急務です。

会員全員がクラブに参加するという意味では、全ての会員にリモート環境を養うことが必要だったのかと考えます。そしてリモートで参加型を追求していくこともチャレンジしてほしいと考えます。クラブ奉仕内の各委員会に助けて頂き、有難うございました。

◎会員組織委員会 中村吉伸委員長

コロナ禍で新規入会が困難だとは思いますが、会員からの情報をもとに積極的な勧誘が必要だと思えます。会員増強に成功しているクラブから卓話に来ていただき、増強について勉強することも重要だと思えます。



職業分類は随時変更をお願い致します。

◎情報・研修委員会 中元耕一郎委員長

①2021～2022年度に行った活動

前期IDM: 新型コロナウイルス感染症予防のため、対面とズーム参加を併用したハイブリッド形式で開催した。

テーマ:「事業費を創り出す新たな事業を検討する。」

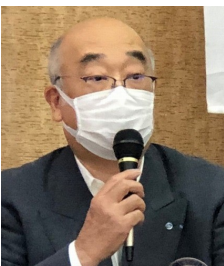
日時: 第1班2021年10月6日(水)

第2班2021年10月7日(木)

場所: 橘家、ZOOM

参加者: 第1班 13名、第2班 11名

後期IDM: 新型コロナウイルス感染症予防のため、書面



開催(アンケート方式)

テーマ:「適正な年会費」

日時: 2022年2月8日(火)～10日(木)

場所: 書面開催(メールあるいはFAXで回答)

参加者: 第1班 13名、第2班 13名

②2021～2022年度に出来なかった活動

ロータリーカレッジは新型コロナウイルス感染症のため実施できず。

入会予定会員候補者への情報提供は、今年度は入会者がいなかったため実施せず。

③次年度への申し送り事項

新型コロナウイルス感染症が収束していれば、ロータリーカレッジを開催してほしい。

RIの定款・細則が変更されるので、それに伴って当クラブの定款・細則も変更・修正が必要となる。

◎例会運営委員会 木本隆昭委員長

本年度もコロナ禍の中での例会運営となり、例会プログラムや卓話者の選定もコロナの感染状況を鑑みながらの対応となりました。

次年度もコロナ禍が続くことが予想されますので、例会プログラムや卓話者の選定は会長・幹事・SAAの方たちとその時の社会状況に合わせて相談して下さい。又、コロナ禍が続くとなると例会場への出席者数が少なくなるとお思いますので、設営などは例会場へ出席してる人みなで協力して下さい。



◎親睦活動委員会 丸山芳孝委員長

・会員の親睦を図るために例会30分前に到着し、笑顔でゲスト・ビジター並びに会員の出迎えと週報及び資料の配布をし、例会でのゲスト・ビジター等の紹介とサポートをしました。又、毎月第一例会での当月会員誕生日・配偶者誕生日・結婚記念日を紹介し、記念品を贈呈しました。

・令和3年12月22日(水)夜間例会及びクリスマス親睦会を行い、盛況に終わりました。

・令和4年5月22日(日)に家族親睦旅行を計画していましたが、コロナ禍の中残念ながら、中止となりました。

次年度は引き続きコロナ禍の中だと思えますが、コロナが収まっているタイミングを見計らって親睦旅行をやりたいです。



◎ロータリー広報委員会 児嶋正人委員長

ロータリー広報委員会は6つの目標を掲げて1年間、活動をしてまいりました。コロナ禍と言う事もあり、充実した活動はできませんでしたが会員皆様また事務局御前様の協力により、スムーズに広報活動が出来たように思います。

誠にありがとうございました。

次年度もコロナはなかなか終息するとは思えませんので辛抱強く広報活動を頑張っていたいただければと思います。

◎職業奉仕委員会 嶋田恵委員長

活動として、ほぼ何もできていないのが実状です。

職業紹介事業については、箕島高校からのキャンセルで中止になりました。

きのくに信用金庫さんでのローテーションデーを企画し、川口幹事と辻支店長の3人で下見にも行きましたが、結局コロナが急増した為中止。ローテーションデーで卓話をお願いしていたきのくに信用金庫常務の緒方様に例会で卓話をいただきました。



◎社会・青少年奉仕委員会 福原陽司委員長

本年度はコロナ禍において、活動の縮小が余儀なくされました。

引継ぎ事項としては以下の通りです。

- ・有田川クリーン作戦への参加。例年7月第一日曜日となります。
- ・案内がすでに届いていると思いますが、「ダメ。ゼッタイ。」普及運動(薬物乱用防止活動)への募金活動。
- ・職業紹介事業を継続されるのであれば、箕島高校との協議をお願い致します。大体例年3月中旬頃開催予定です。
- ・みかん海道桜木の手入事業ですが、先日会長幹事にて有田市役所と打合せ行い結果、有田RCは桜木の枝が道路に張り出した時には剪定を外部に委託する。溝掃除は有田市役所で行うと決まりました。

◎国際奉仕委員会 北畑貴行委員長

コロナ禍でのRC活動が制限される中で、国際奉仕委員会としては中々活動が行えませんでした。

次年度への申し送りですが、コロナとの共存という新たなステージで、次年度は国際奉仕事業が再開できることを願います。

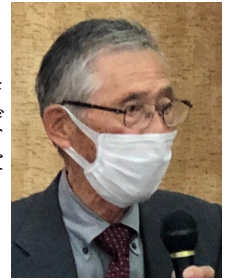
米山記念奨学生の凌文彪君が、今年4月から有田ロータリークラブの仲間に加わりました。米山記念奨学会を会員皆様と共に全力でサポートしていきましょう。

また、国際交流事業をはじめ、国際奉仕事業が気兼ねなく活動できる日が一日でも早く来ることを願います。

◎ロータリー財団委員会 岩橋行伸委員長

今年度ご寄付いただきました方々へ御礼申し上げます。

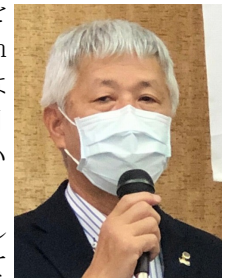
次年度へのお願いとしましては、会員各自の寄付額が見える化し、さらばご寄付をお願いしていただければと思います。



◎米山記念奨学会委員会 菅原佳典委員長

10月に米山奨学生を招聘し卓話をしていただくことはできましたがZoom利用なども含め懇談会等、本年度はあまりできなかった奨学生との交流目的の例会を次年度はもっと開いていただけたらと思います。

また、特別寄付も皆様をお願いし本年以上の金額のご寄付を目指していただければと思います。



◎戦略計画委員会 上野山栄作委員長

2年間委員長をさせて頂きました。初年度はビジョン声明や優先事項等、決めなければならないことが多くあり、道のりは描けたと思います。

2年目で、その目的達成に対しての最優先事項を考え、委員会組織の変更、今あるべき組織について改革が出来たものの、やはり、複数年度に跨いで目標達成までの道のりを計画するまでには至っておりません。

今後の戦略計画委員会では目標達成に向けての年度別の目標に落とし込み、クラブ内部の更なる改革や、求められる奉仕事業への取り組みに関する数年先までの計画を毎年描いていただける様にお願い致します。

委員の皆様、十分な委員会活動が出来なかったことをお許しください。

閉会・点鐘

〔松村会長〕



～ポール・ハリス 名言～

「私たちはこう問います。最も優れた人間の才能を戦争のための科学に捧げなければならぬのに、戦争を回避するための科学には捧げないのか、と」(1940年)